

2019年度自己点検・評価報告書について

全学自己点検・評価委員会
委員長 田中 亮平

『2019年度自己点検・評価報告書』を公表するにあたり、創価大学における2019年度自己点検・評価活動の概要について一言ご紹介申し上げます。

1. 大学基準協会が示す大学基準及び点検評価項目に基づく点検・評価

本年は、新たに設置されました内部質保証推進委員会におきまして、今年度の自己点検・評価活動の大綱について審議が行われ、2021年度に認証評価申請を控えていることから、大学基準協会が示す「大学基準」及び「点検・評価項目」を踏まえた点検・評価活動を行うよう要請がありました。

本委員会より各評価分科会に対して項目を示し、可能な項目について点検・評価を行いました。

2. アセスメント・ポリシーに基づいた学習成果の測定及び可視化を推進

昨年度に引き続き、全学部・研究科及び共通科目において、アセスメント・ポリシー／アセスメント・プランに基づいた学習成果の測定及び可視化を推進しました。その結果については、大学基準協会が示す大学基準「教育課程・学習成果」及び「点検・評価項目」に基づいて点検・評価を行い、他の項目と合わせて報告書としてとりまとめております。

3. 学生参加型の内部質保証体制の推進について

今年度より改訂されました「創価大学内部質保証ポリシー」におきまして、「自己点検・評価活動の客観性、公平性を担保するため、外部評価及び学生の意見聴取を積極的に行う。」ことが示され「創価大学自己点検・評価実施規程」には、「各委員会及び分科会は、学生の代表を構成員とすることができる。」と明記されました。昨年度に引き続き、評価分科会への参加を学生代表に依頼し、意見を取り入れる仕組みの推進を図りました。

教育・研究活動の一層の向上を目指して、創価大学における内部質保証システムの更なる強化を進めてまいります。

公表内容をご高覧頂き、本学の活動に対して皆様の忌憚のないご意見を伺うことができれば幸いです。

2020年3月